

公益社団法人 若狭町シルバー人材センター

令和5年度 事業計画

基本方針

国は、少子高齢化が進展する中で、社会の活力を維持し、持続的な成長を実現するために、働く意欲のある高齢者が年齢にかかわらずその能力や経験を活かして生涯現役で活躍し続けられる社会環境を構築し、一億総活躍社会を目指しています。

シルバー人材センターは、退職後の高齢者個々の体力等にあった「臨時的・短期的又は軽易な就業」形態を基本に、地元に着した多様な就業機会の確保・提供を通じて、福祉の増進に資することを目的としており、地域社会からの期待が高まる中で、シルバー人材センターの役割は益々重要となり、大きな期待が寄せられているところです。

当シルバー人材センターにおいては、組織の根幹である会員の数が令和元年度280名であったのが、継続雇用の延長、定年引上げ等により、新規加入者が少なく減少が続いており、今年度は組織を挙げて「会員増強運動」を展開して、地域の期待に応えられるよう組織の強化に努め、活力ある地域社会づくりに寄与してまいります。

目標達成に向けた取組み

1.会員の拡大について

シルバー人材センターが、地域の高齢者にとって魅力ある受け皿として、また地域社会の支え手としての機能を十分発揮するため、その根幹となる「会員拡大」は必要不可欠であり、下記の事業を中心に会員拡大を推進します。

- 1)役員、職員、会員が一体となった取り組みの推進「会員増強運動」の展開
- 2)イメージアップのための広報活動
- 3)ターゲットを絞った入会促進の取組（年齢、性別、職種別等）
- 4)退会抑制の取り組み（プラチナ制度利用）

数値目標 280名

2.受注・就業機会の拡大について

シルバー人材センターの就業として、「草刈」「剪定」「清掃」と三大就業イメージが強い、このことから、従来からの受託、委任就業に加えて派遣事業、ホワイトカラー(事務系)また女性会員向けの仕事の確保・拡大に積極的に取り組めます。

- 1)会員の就業ニーズに沿った就業機会の開拓に努めます。
- 2)継続発注による就業機会の確保に努めます。
- 3)講習会等の開催により技能向上と、信頼性向上による就業機会の確保を図ります。
- 4)公共機関への働きかけを強化します。

数値目標 受託事業 75,000 千円 派遣事業 19,000 千円

3.安全・適正就業の推進について

シルバー人材センターの事業の運営においては「安全はすべてに優先する」という基本理念に基づき「安全・適正就業委員会」を中心として、年間の活動方針や活動計画を策定し「事故ゼロ」を目指して、会員の安全意識の向上や情報の共有をはかりつつ安全就業、及び事故防止に取り組めます。

- 1)推進月間の設定や安全就業パトロールの強化に努めます。
- 2)安全・適正就業研修会を開催します。
- 3)「かわら版の発行」「安全就業チェック表」を活用した事故防止意識の高揚を図ります。

数値目標 事故件数 0 件

4.介護事業

行政、地域内業者と連携を取りあい訪問介護利用者の拡大を図ります。

数値目標 訪問回数 1,500 回

5.指定管理事業

- 1)施設の整備、管理を徹底し顧客満足度アップに努めます。
- 2)管理者主催の大会を企画し利用者の増加を図ります。
- 3)民宿に配布している利用券の利用拡大を促進します。

6.シルバー事業の普及拡大

シルバー事業の意義、理念、仕組などを広く周知するとともに、会員加入を促進するため、効果的な普及啓発活動の取組を行います。

- 1)連合と一体となり、新聞、テレビ、ラジオなどメディアの活用を行います。
- 2)パンフレット等の作成配付を行います。
- 3)ボランティア活動を行います。
- 4)地域ふれあいフェアーを開催し地域住民との交流を図ります。